

評価に基づく分析について（1 / 3）

令和6年度の評価を基にふじみ野市の「強み」と「課題」をそれぞれ分析しました。

◇強み

1 「7介護予防ケアマネジメント・介護予防支援事業」

（理由）市町村評価及び全地域包括支援センター評価が100%を達成している。市町村評価の全国平均（54.8%）に比べて大きく上回っている。

（具体的な評価ポイント）利用者のセルフマネジメントを推進するための、介護予防手帳の活用、市独自のケアマネジメントマニュアルの提供及び自立支援型地域ケア会議（地域ケア個別会議）の活用等を評価されている。

評価に基づく分析について（2 / 3）

◇課題

1 「1 地域包括ケアシステムの構築・推進」

（理由）市町村評価が全国平均を下回っている。

（具体的な課題）地域包括支援センター評価結果を基に課題を分析をしていなかった。

2 「3 総合相談支援事業」

（理由）全地域包括支援センター評価が全国平均を下回っている。

（具体的な課題）相談事例の終結条件を市から提供していなかった。また、複合的な課題を持つ世帯数・人数・内容等の実態を把握していなかった。

評価に基づく分析について（3 / 3）

◇課題

3 「4 権利擁護事業」

（理由）市町村評価及び全地域包括支援センター評価が両方とも全国平均を下回っている。

（具体的な課題）成年後見制度の市町村長申立てに関する判断基準を市が共有していなかった。

4 「6 地域ケア会議」

（理由）市町村評価は高いが、地域包括支援センター評価が低いためギャップがある。

（具体的な課題）センター主催の地域ケア会議（地域ケア推進会議）を実施していないため。